受　検　の　注　意【一般選抜】

３月１１日(月)　集合時間は学校ごとに違う、受検票等でチェックする

受検票等で詳細を再チェックする。

◆入試前日の過ごし方

①受検票の注意書きをもう一度読み返しておくこと。
②受検校への道順、所要時間、交通費などについて確かめておくこと。
　雨天などの天候、通勤や受検生による混雑も考慮しておくこと。
③持っていくものの確認。**(受検票に書いてある。) 不必要なものは持って行かない。**

カバン（正カバン or サブバッグ）
生徒手帳、受検票、交通費、シャープペンシル(替え芯)と鉛筆（ＨＢ４・５本）
消しゴム、直定規、コンパス、(鉛筆削り)
時計、弁当（必要なところ)、体育館シューズ（必要なところ)、
ハンカチ、テイッシュ、カイロ、マスク、常備薬、(雨具)、防寒着、電話代
このプリント　　**※受検番号をよく覚えておくこと**

㊟・時計（時計機能だけのもの　アラームは切っておく　シンプルな時計にする）
・ハンカチ（無地【ワンポイント×・文字など×・できれば柄物も避ける・色は特に大丈夫】）
ハンドタオル含む
・防寒着は文字などが印字されていないものを着用
・ティッシュペーパーは袋または箱から中身だけ取り出す
【検査室に持ち込めないもの】
分度器・分度器機能付き定規・計算機・携帯電話・ウェアラブル端末
スマートフォンなどの通信機器・電子辞書・IC レコーダー等の電子機器類

④電車代について**(IC カードでもよいが不具合の場合に備えて、現金往復分位は持って行くこと)**
⑤服装、頭髪の点検。(清潔で中学生らしいもの)
⑥勉強は重要事項にざっと目を通す程度にとどめること。
⑦早めに寝て、睡眠を十分にとること。
⑧翌朝の起床時刻を保護者に伝えておくこと。

◆入試当日の心得

①早めに起きて、トイレをすませておくこと。
　人間の頭脳は、朝起きてから２～３時間後にならないと完全に働かないといわれている。
　試験開始を９時とすれば、６時頃に起きるのがよいという計算になります。
②朝食は消化のよいものを軽めに、ゆっくりとっておくこと。
③出発前に所持品をもう一度点検し、必要な人は弁当を忘れないように。

（自転車は使わない事）（スマホは持って行かない事）

④集合時刻の２０～３０分前に試験場に着けるように、余裕を持って家を出ること。
　(友人と待ち合わせている場合でも、予定の時間がきたら先に出かけること)
⑤受検校に到着したら、掲示物や放送の指示に注意すること。
⑥コート等を着用して行く場合は、門のところで脱いで校内に入ること。
⑦試験開始前に必ずトイレをすませておくこと。
⑧昼食時に校外へは出ないこと。

『もしも、こんなことになったら？』

①万一、何らかの事情で遅れそうになったら、中学校に連絡すること。
公衆電話を探さずにコンビニ又は周りの大人に助けを求める。
遅れたとしてもあきらめずに試験会場に行くこと。
ただし、時間の延長は認められない。
②受検票を忘れたら、取りに戻らず受検校に向かい高校の先生に申し出ること。
③急病で、受検できなくなったら、すぐに中学校へ連絡すること。**(朝７時から電話つながります)**
④その他、不測の事故が起きた場合は、すぐに中学校へ連絡すること。

【三稜中学校の電話番号】

０６－６６９１－２１３１・０６－６６９１－２１３２

◆受検の心得

※ 受検校に着いたら、すぐ**掲示物を見ること**！！

（注意事項、予定、集合場所、受検教室などが書いてあるのでその指示に従う。）

① 私語をつつしみ、余計な行動をしないようにする。
② 試験監督の先生の指示をよく聞き、間違いのないようにする。
③ 受検番号と氏名は最初に書くこと。
④ 時間配分に気をつけること。わからない問題は後回しにして、意地にならない。
⑤ 問題をよく読み、問題の意味を正しくつかむこと。答え方を間違えない。
解答欄を間違えない、ずらさない。
⑥時間のある限り問題に取り組み、空白を残さないようにすること。
⑦最後の数分は解答の見直しをすること。

⑧終わったと思って、**机に伏せたり、寝てはいけません。**

⑨休憩時間は静かに過ごし、頭を休めること。終わったテストの答えあわせは極力しない。
⑩学科試験終了後、面接や実技試験のある人は忘れずに受験すること。
⑪テスト終了後、高校の先生の連絡や指示をよく聞いてから帰ること。

☆当日、受検できそうにないような体調不良や高熱の場合
コロナ感染症やインフルエンザの陽性が分かった時は、必ず
７:００～７:３０の間に三稜中学校に電話してください！

Do your best

落ち着いて、自分の力をしっかり発揮しよう！